

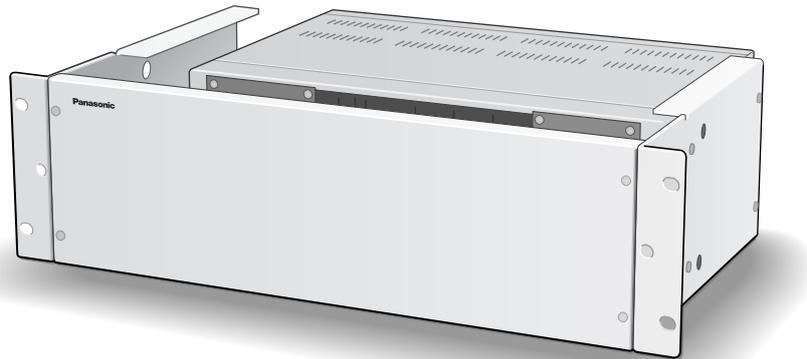
Panasonic®

取扱説明書

工事説明付き

増設用出力制御ユニット

品番 **WU-ER551 WU-ER552**



上手に使って上手に節電

保証書別添付

- このたびは、増設用出力制御ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4ページ)は、**ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
 - 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

- 本機はラック形非常用放送設備（WL-8000シリーズ）に組み込んで使用します。
- 本機をラック形非常用放送設備に最大16台増設して、スピーカー回線数を最大340回線、階別信号入力を340系統まで増やすことができます。
- スピーカー回線の短絡検出は、ヒューズレス方式の採用と、回線ごとの感度調整で対応しています。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書） …………… 1冊 保証書 …………… 1式

以下の付属品は、取付工事に使用します。

CONT BUS Bケーブル（16ピン） …………… 1本 束線バンド …………… 6本
 増設用PAケーブル …………… 1本 端子台表示ラベル（製品に添付） …………… 1枚
 ラックマウントねじ（M5×12、リブ付き） …… 4本

免責について

弊社は如何なる場合にも以下に関して、一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ② お客様の故意、誤使用や不注意による損害、または本商品の破損等
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、放送ができないなどによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 本商品の点検が適切に行われていない結果、発生した損害・被害

記号のみかた



：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
記号のみかた	2
安全上のご注意	4

はじめに

設置・工事

設置上のお願い	5
ラックへの収納について	5
ケーブル類の処理について	5
接続のしかた	6
後面コネクタの接続	6
ユニット内部のジャンパーカット（電力増幅ユニットの系統分け）	7
前面端子の接続	8
端子台表示ラベルの記入について	14
設定のしかた	15
ユニットアドレスとスピーカー短絡検出感度の設定	15
接続点検	17
電源の投入	17
絶縁抵抗試験のしかた（スピーカー出力端子および火災報知機系統（EL/EF/EB）	18
EMG24 Vブレイク（メンテナンス用端子）の使いかた	19

設置・工事

必要なとき

必要なとき

故障かな!?	20
仕様	21
保証とアフターサービス	23

安全上のご注意

必ずお守りください

はじめに

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です）。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する

 工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない

 水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

禁止

- ただちに販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない

 火災や感電の原因になります。

分解禁止

異常があるときは、すぐ使用をやめる

 煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに販売店にご連絡ください。

取り付けねじは、しっかりとしめる

 落下などで、けがの原因になります。

- 取付工事は販売店に依頼してください。

雷のときは工事、配線をしてはいけない

 火災や感電の原因になります。

禁止

設置上のお願い



警告

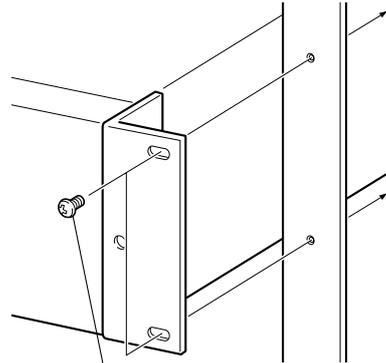
必ず電源を遮断してから行う

ラック形非常用放送設備の電源制御ユニット (WU-L62) のブレーカーと、非常電源ユニット (WP-570B) の蓄電池スイッチを「切」にしてください。
あわせて分電盤のブレーカーも「切」にしてください。

ラックへの収納について

● ラックマウント用ねじについて

本機をラックに取り付けるときは、必ず付属のリブ付きねじ (M5×12) を使用してください。
締め付けトルクは、 $2 \text{ N} \cdot \text{m} \sim 2.4 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $20.5 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \sim 24.5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } です。

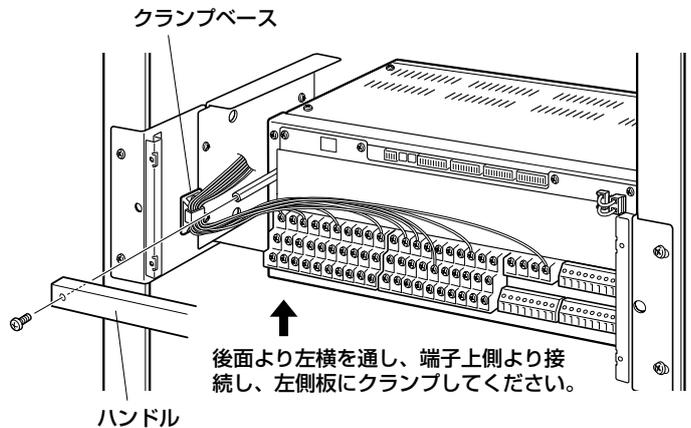


リブ付きねじ (M5×12 : 付属品)

ケーブル類の処理について

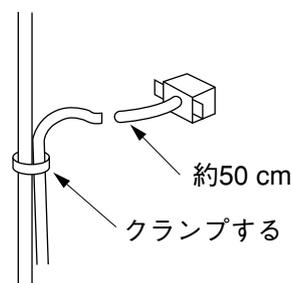
● 外部接続線の処理

- ・外部と接続する線材は、ラック後面の左側で立ち上げ、ユニット左の通線スペース経由で前面へ引き込むか、または前面の左側スペースから立ち上げて端子に接続します。
- ・付属の束線バンドで線材をユニット側面のクランプベースに固定します。
- ・前面端子部を引き出せるように、クランプベースと前面端子との間の線材は、5 cm程度の余裕をもたせてクランプします。
- ・束線径が太く、曲がりにくい場合は、クランプより奥でシーすをはがしてください。
- ・ハンドルが邪魔になる場合は取り外して接続し、接続が済んでからハンドルを取り付けます。
- ・ユニットを取り外すときは、接続したケーブルをすべて外してから取り外します。



● コネクター付きケーブルの処理

ケーブルはユニットを引き出すために約50 cmたるませて、ラック後面の棒にクランプしてください。



接続のしかた

後面コネクタの接続

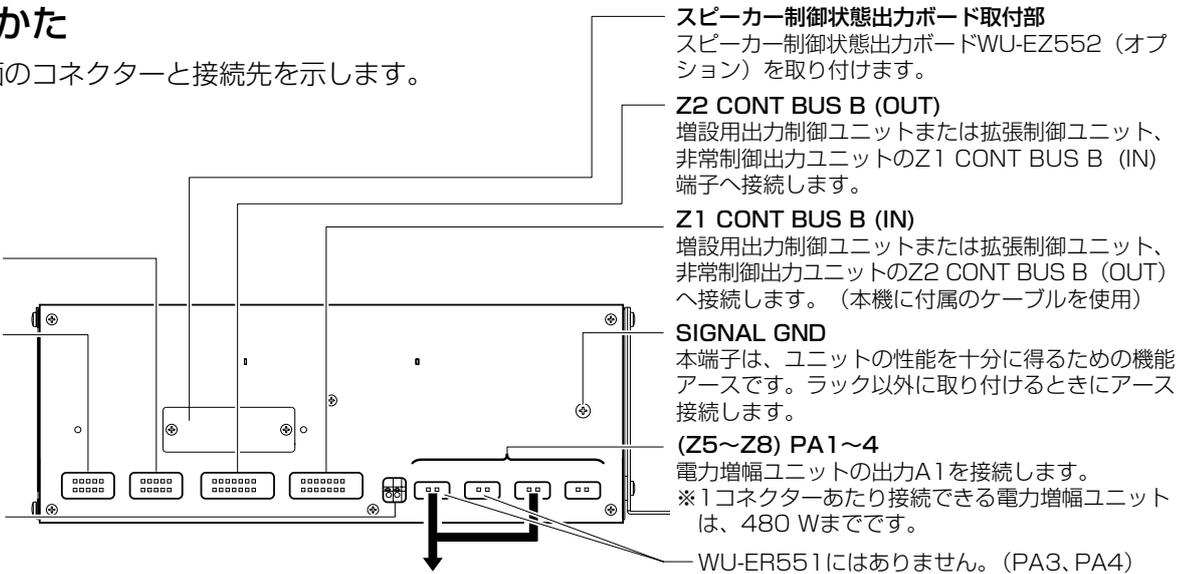
● 接続のしかた

ユニット後面のコネクタと接続先を示します。

Z3 PWR CONT
外部電源を増設する際に接続します。

Z4 PWR CONT (URG)
停電時に緊急・業務放送を行う場合の外部電源を増設する際に接続します。

外部機器異常入力



増設の場合

次の増設用出力制御ユニットのPA1へ接続します。
WU-ER552のときはPA4を、WU-ER551のときはPA2を使用します。

増設用出力制御ユニット WU-ER551 WU-ER552		接続先		使用ケーブル	
記号	端子名	ユニット品番	端子名	種類	備考
Z1	CONT BUS B (IN)	増設用出力制御ユニット または、拡張制御ユニット (WU-EX590)、非常制御出力 ユニット (WU-EM552)	CONT BUS B (OUT)	CONT BUS Bケーブル	各ユニットに付属
Z2	CONT BUS B (OUT)		CONT BUS B (IN)	CONT BUS Bケーブル	各ユニットに付属
Z3	PWR CONT (外部電源用)	電源制御ユニット WU-L62	PWR CONT	PWR CONTケーブル	WU-L62付属
		非常電源ユニットWP-570B			WP-570B付属
Z4	PWR CONT URG (停電時に緊急・業務 放送を行う場合に 外部電源を接続)	緊急・業務放送用 非常電源ユニット WP-570B	PWR CONT	PWR CONTケーブル	WP-570B付属
Z5	PA1	電力増幅ユニット	PA OUT	PA出力ケーブル×1	電力増幅ユニット付属
Z6	PA2	電力増幅ユニット	PA OUT	PA出力ケーブル×1	電力増幅ユニット付属
Z7	PA3 (WU-ER552のみ)	電力増幅ユニット	PA OUT	PA出力ケーブル×1	電力増幅ユニット付属
Z8	PA4 (WU-ER552のみ)	電力増幅ユニット	PA OUT	PA出力ケーブル×1	電力増幅ユニット付属
Z9	外部機器異常入力	—	—	—	—
—	スピーカー制御状態出力 ボード取付部	スピーカー制御状態出力 ボード (WU-EZ552)	—	—	—



- 後面の入力コネクタ (PA1、PA2、PA3、PA4) に接続できる電力増幅ユニットは、1コネクタ当たり最大480 Wです。これを超える電力増幅ユニットを接続する場合は、複数の系統に分けて配線してください (→7ページ)。
- 複数の増設用出力制御ユニットを設置する場合、本機のPA4と次のユニットのPA1を付属の増設用PAケーブルで接続します。WU-ER551のときは、PA2を次のユニットのPA1に接続します (PA出力を1台目から2台目へ中継するため)。
- システムの規模が100局、100回線を超える場合には、外部電源が必要になります。外部電源は、本機から供給することが可能です。(→12ページ)

ユニット内部のジャンパーカット（電力増幅ユニットの系統分け）

増設用出力制御ユニット背面のPA入力コネクターPA1～4（WU-ER551はPA1、2）は、下図のように本機内部で並列に接続されています。したがって、電力増幅ユニットの出力を本機の内部で並列接続することが可能です。ただし、下表のように並列接続可能な台数および最大合計出力ワット（W）数に制限があるため、制限を超える場合には、本機内部のジャンパーをカットし、電力増幅ユニットの系統を分ける必要があります。

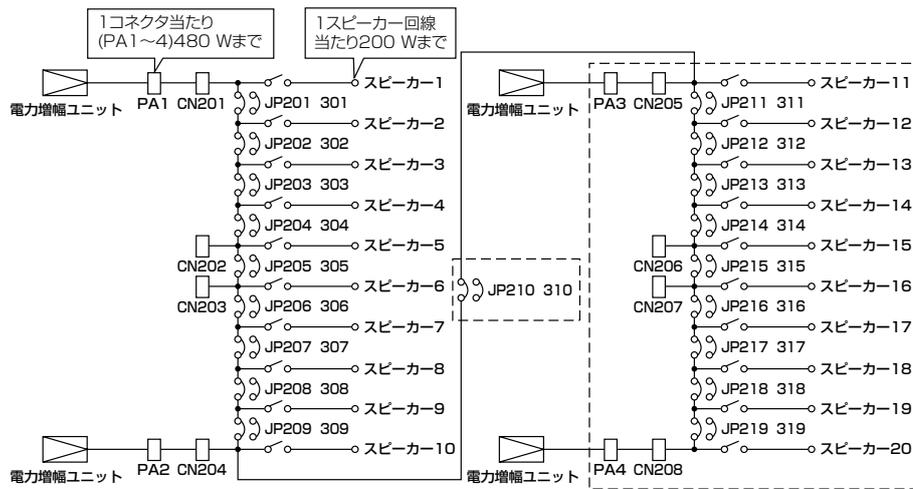
電力増幅ユニットの並列可能台数およびワット(W)数

電力増幅ユニット	可能な台数	最大合計出力ワット(W)数
WU-P51とWU-P52の組み合わせ	4	480 W
WU-P53を含む組み合わせ	3	1080 W

本機の内部ジャンパーは、下記の場合、カットが必要です。

- ①本機に接続する電力増幅ユニットが、並列可能台数およびワット（W）数を超える場合
電力増幅ユニットを、PA入力コネクターを分けて接続し、並列接続可能な条件となるようにユニット内部のジャンパーをカットする。
- ②入力マトリクスを使用して多元放送を行う場合
別の放送エリアに同時に放送が行われると電力増幅ユニットの出力がぶつかるため、ユニット内部のジャンパーをカットする。

● 増設用出力制御ユニット内部配線図



※図は、WU-ER552です。WU-ER551には点線部はありません。
※図中のJPIは、ジャンパーを表します。



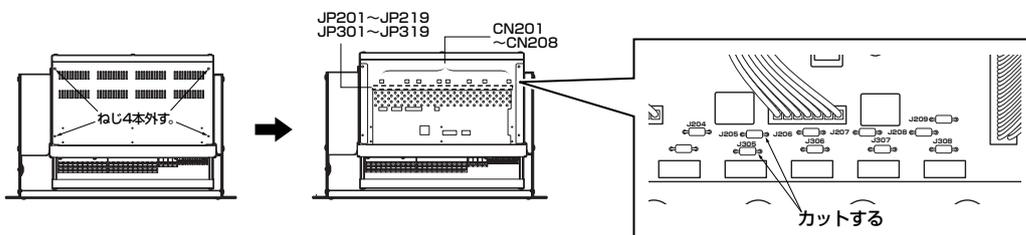
- 一つのPA入力コネクターには、480 Wを超える電力増幅ユニットを接続しないでください。



- CN201、204、205、208をCN202、203、206、207へつなぎ替え、組み合わせることにより、使用効率よく系統を分割できます。

● ジャンパー線の切り方

ユニットの天板を外し、基板上のジャンパーをニッパーなどでカットする。



前面端子の接続

● スピーカー出力端子の接続

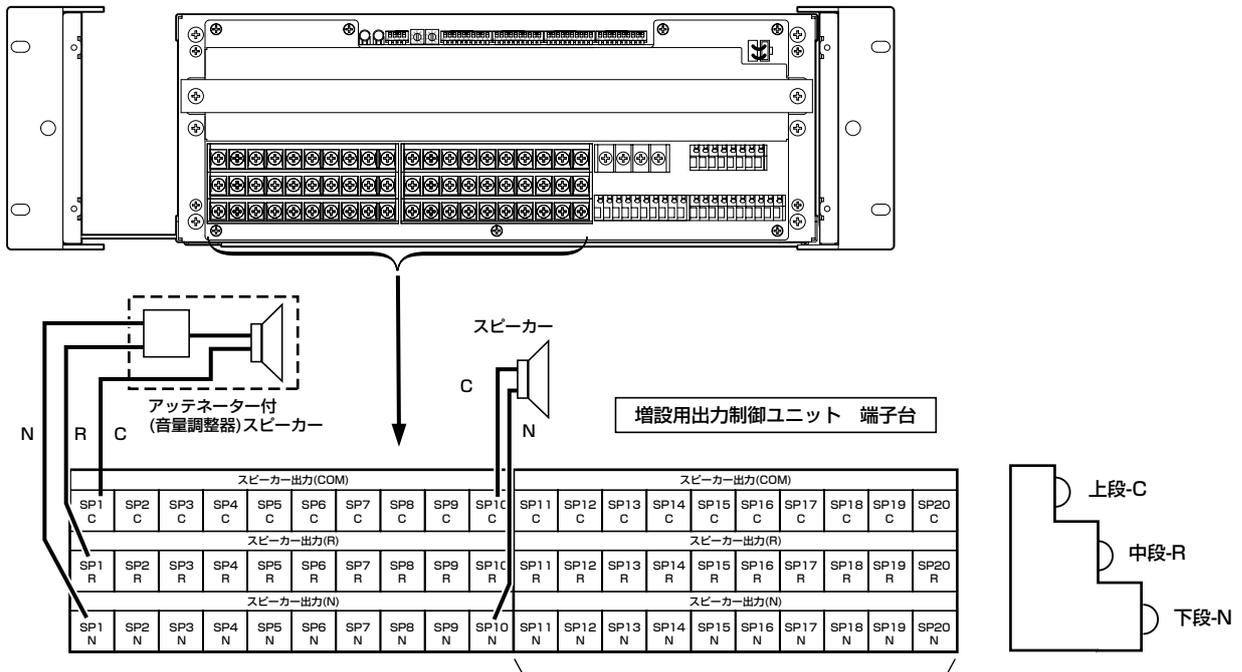


警告

- ・スピーカー出力端子の接続は必ず電源を切ってから行ってください。
- ・音声出力時にスピーカー出力端子に触れると、感電する恐れがあります。

下図のようにスピーカーを接続します。

増設出力制御ユニット(WU-ER551/ER552)



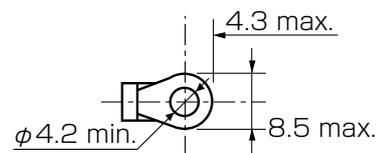
※WU-ER551はSP11～20は実装されません。



- スピーカー出力端子1回線当たりの最大ワット (W) 数は200 Wまでです。200 Wにおさまるようにスピーカー回線を分けてください。
- スピーカー出力に接続されるスピーカーのワット (W) 数に応じて、スピーカー短絡検出感度切替のディップスイッチ設定が必要です (→16ページ)。



- 出荷状態では、電力増幅ユニットを接続するPA1～4入力コネクタはすべて並列に接続されています。接続するスピーカー回線の系統に応じて、PA入力コネクタの系統分けおよび、スピーカー回線をブロック分けして使用することができます。(→7ページ)。
- 接続には丸端子を使用してください。丸端子はJIS C 2805 銅線用絶縁被覆 (直管形) 付圧着端子RAV2-4、RAP2-4 (適用電線断面積 2.0 mm²、φ 1.6 mm) をご使用ください。



- 書き込み設定により、スピーカー出力の番号と放送階選択スイッチ、業務選択スイッチなどの各ユニットのスイッチ・制御入力との関連付けが必要です (→WL-8000/8500の工事説明書 「書き込み編」)。

● 階別信号、火災確認信号入力端子の接続

- ・自動火災報知設備からの階別信号、火災確認信号を接続します。
- ・階別信号および火災確認信号は無電圧メイク入力に対応し、開放電圧30 V、短絡電流3 mAです。



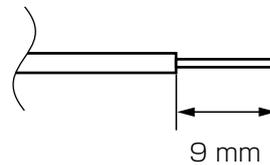
- 書き込み設定により、階別信号入力の番号と放送階選択スイッチの関連付けが必要です（→WL-8000/8500の工事説明書 書き込み編）。

● EB端子の接続

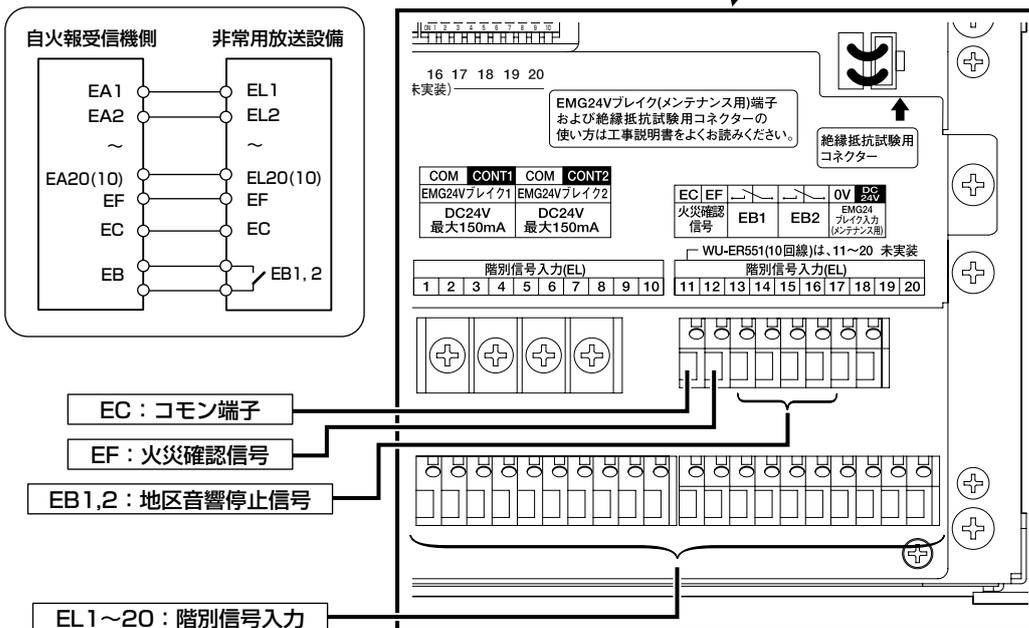
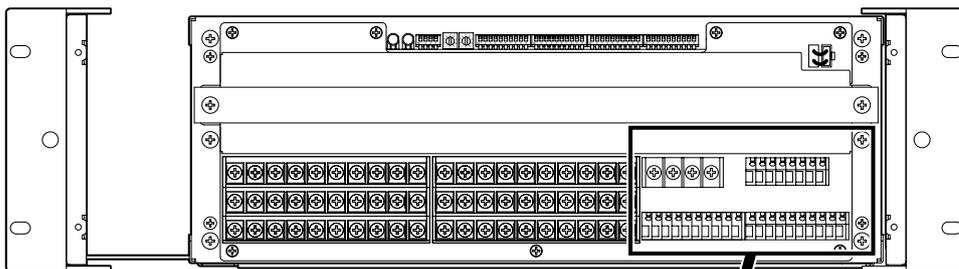
- ・音声警報放送中に誘導音装置を停止させるためには、EB信号（2系統）を自動火災報知設備の受信機に接続します。
- ・EB信号はリレー接点、制御電圧DC50 V、制御電流最大1 Aです。

● 接続線について

- ※使用可能電線：φ0.65 mm～φ1.2 mm
- 電線剥き線長：9 mm



増設用出力制御ユニット(WU-ER551/ER552)



WU-ER551は、階別信号入力11～20は実装されていません。

接続のしかた

● EMG24 Vブレイクの接続

EMG24 Vブレイク（非常制御信号）により、非常放送時にローカルアンプの放送を停止させることができます。EMG24 Vブレイクの制御電流は最大150 mA×2系統です。

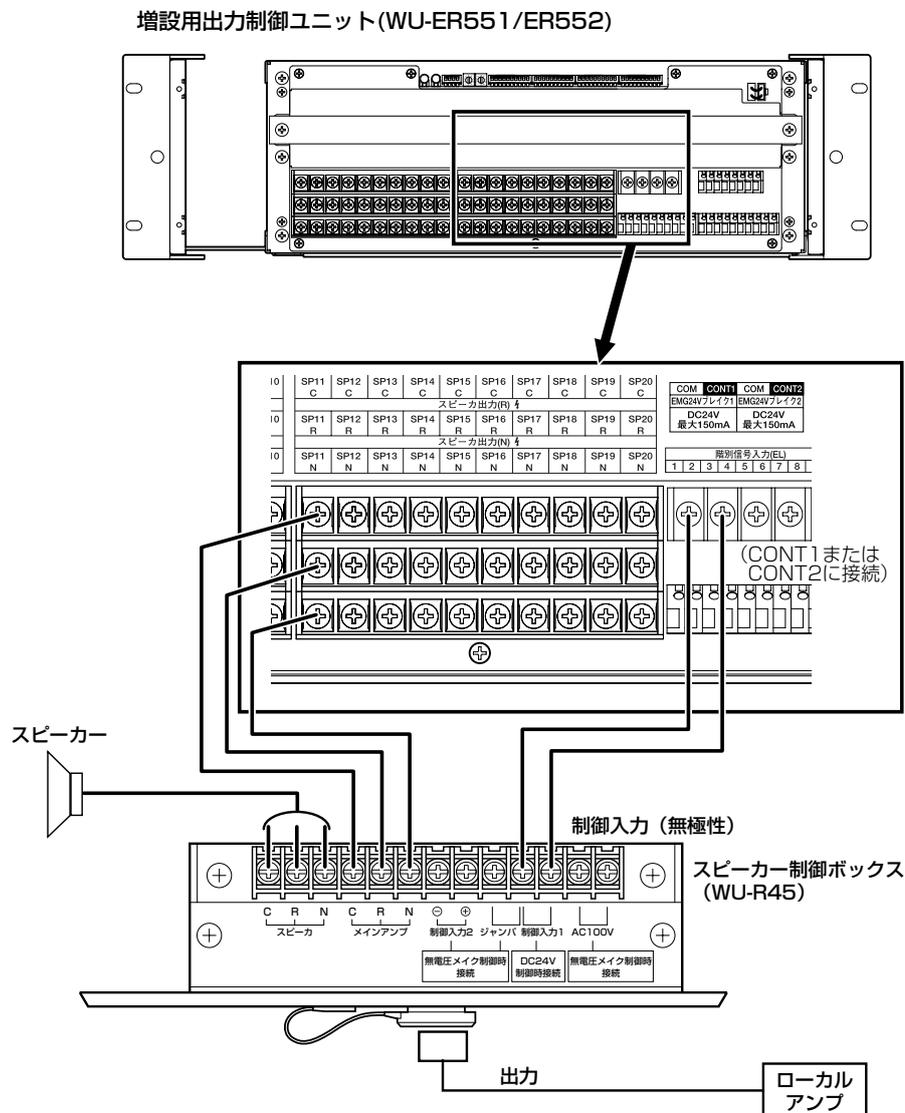
・スピーカー制御ボックス（WU-R45）を使用する場合

WU-R45の接続スピーカーを非常用とローカル用で兼用し、非常用放送設備からのEMG24 Vブレイク信号で、スピーカーを非常用（メインアンプ側）に切り換えることができます。

・電源制御ボックス（WU-R40B）を使用する場合

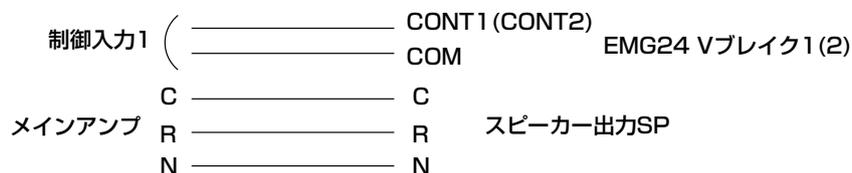
非常放送設備からのEMG24 Vブレイク信号により、非常放送時にローカルアンプの電源を遮断できます。

<スピーカー制御ボックスWU-R45の接続>



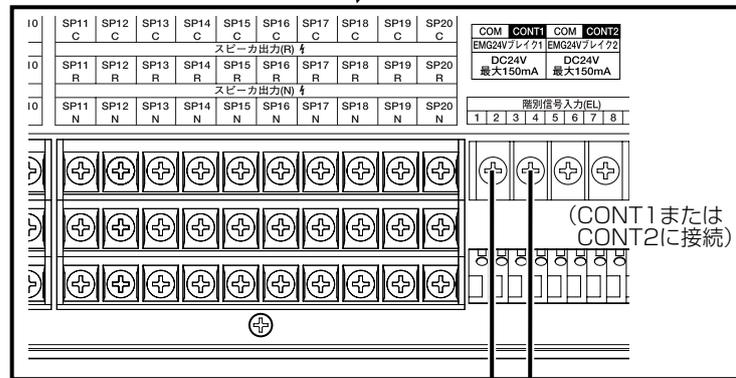
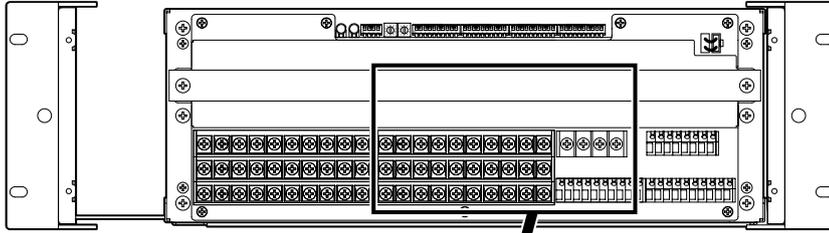
スピーカー制御ボックス(WU-R45)

増設用出力制御ユニット

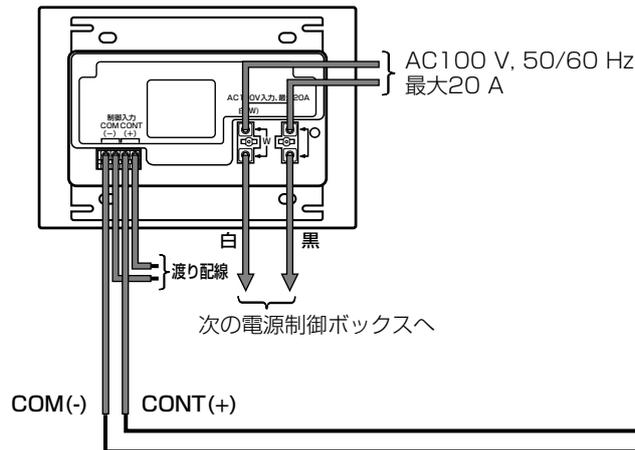


<電源制御ボックス WU-R40Bの接続>

増設用出力制御ユニット(WU-ER551/ER552)



電源制御ボックス(WU-R40B)



電源制御ボックス(WU-R40B)

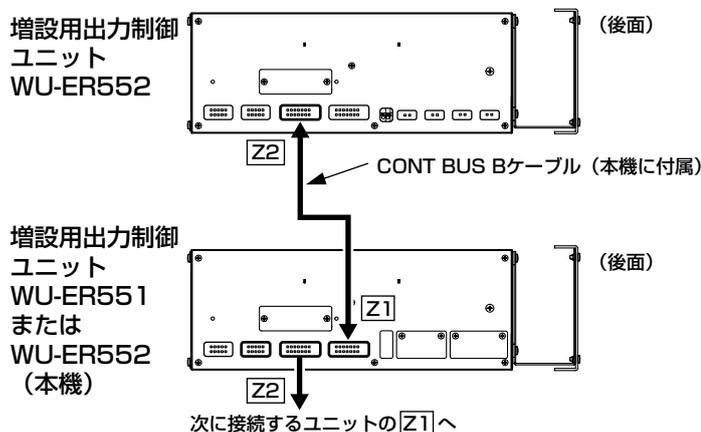
増設用出力制御ユニット



接続のしかた

● 基本接続

- ・ 本機の[Z1]には、前に接続するユニットの[Z2]からのCONT BUS B ケーブル（本機付属）を接続します。
- ・ 次に接続するユニットがある場合、次のユニットの[Z1]に、本機の[Z2]からのCONT BUS B ケーブル（次に接続するユニットに付属）を接続します。



※本機の前後には、拡張制御ユニット（WU-EX590）、増設用出力制御ユニット（WU-ER551／ER552）、非常制御出力ユニット（WU-EM552）の接続ができます。

● 増設用出力制御ユニットに外部電源の接続が必要な場合

- ・ ラック形非常用放送設備（WL-8000シリーズ）のシステム規模により、入出力制御ユニット（WU-ER550）からの電源供給が不足する場合は、電源制御ユニット（WU-L62）および非常電源ユニット（WP-570B）を外部電源として接続する必要があります。
- ・ 外部電源は、本機のZ3 PWR CONTコネクタへ非常電源ユニット、電源制御ユニットを接続します。



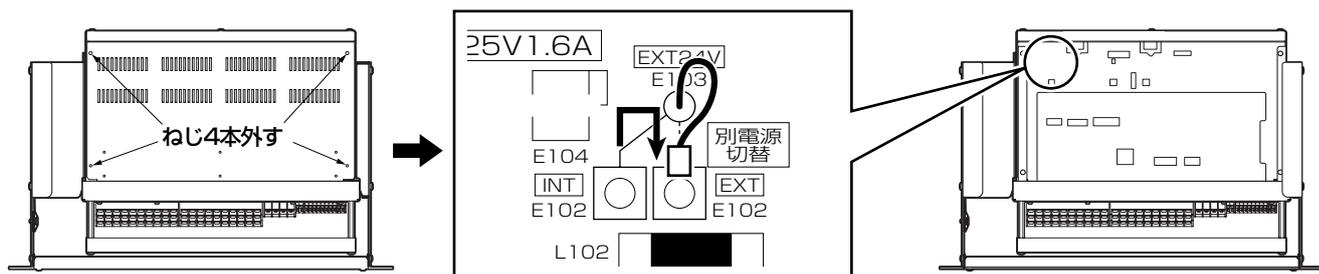
- 外部電源を接続する場合、接続を行う増設用出力制御ユニット内部の電源切替ジャンパーを[EXT]に設定します。



- 外部電源の考えかた、必要条件については、ラック形非常用放送設備（WL-8000シリーズ）の工事説明書 設置工事編の「システム的应用・システム電源の拡張」をお読みください。

電源切替ジャンパーの変更について

ユニットの天板を外し、基板上的電源切替ジャンパー（E103）をINT側からEXT側へ差し替えてください。外部電源を接続する場合、必ず設定を行ってください。



● 停電時に緊急放送・業務放送を行う場合

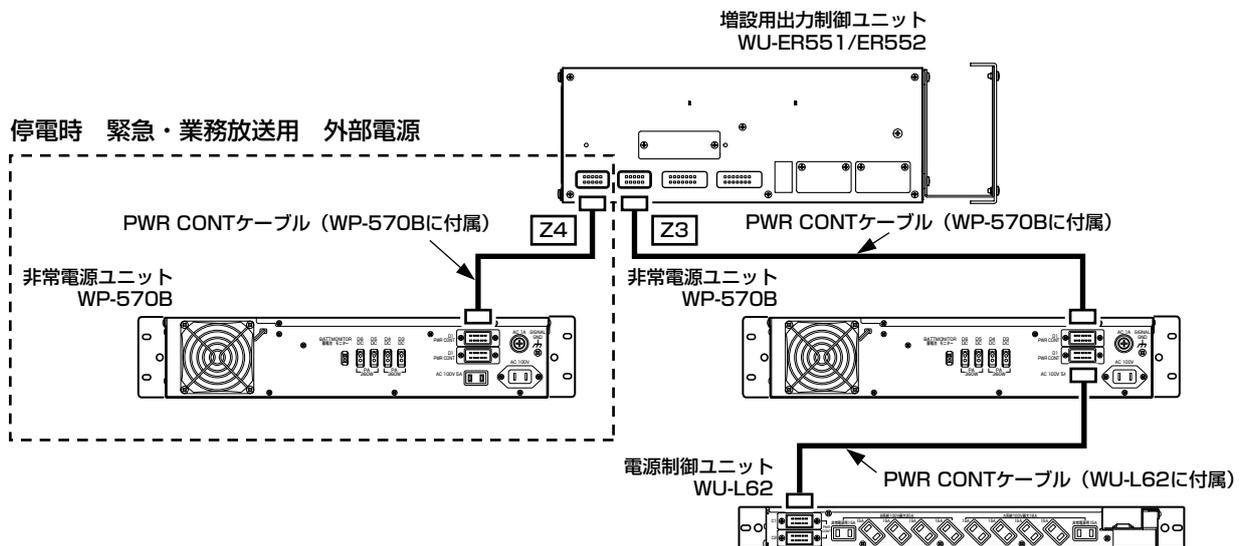
- ・ラック形非常用放送設備（WL-8000シリーズ）で、停電時に緊急放送または業務放送を行う場合は、非常放送用の非常電源ユニット（WP-570B）とは別の非常電源ユニットが必要です。
- ・本機のZ3 PWR CONTコネクタに外部電源を接続している場合には、Z4 PWR CONT（URG）コネクタに停電時放送用の非常電源ユニットを接続します。



- 停電時に緊急・業務放送を行う場合の外部電源の考えかた、必要条件については、WL-8000/8500の工事説明書 設置工事編の「システムの応用・システム電源の拡張」を参考にしてください。

● 外部電源の接続について

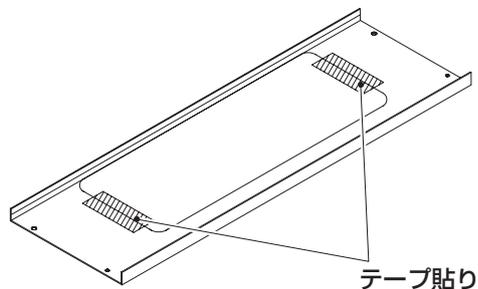
- ・本機のZ3 PWR CONTコネクタへ外部電源としての非常電源ユニット、電源制御ユニットを接続します。
- ・停電時に緊急・業務放送を行う場合には、本機のZ4 PWR CONT（URG）コネクタに停電時放送用外部電源としての非常電源ユニット（点線内）を接続します。



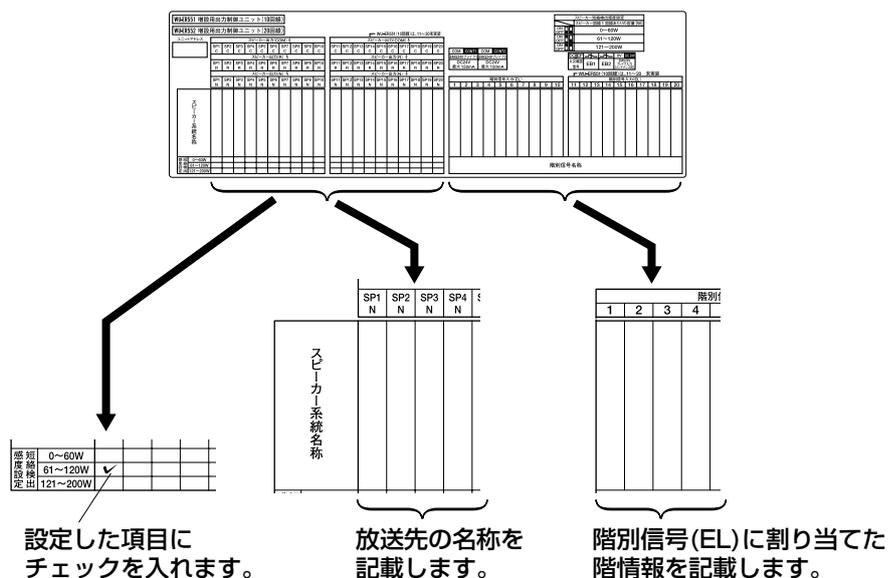
- 停電時の緊急業務放送用外部電源に使用する非常電源ユニット、蓄電池の必要台数は、Z3 PWR CONTコネクタに接続している非常電源ユニット、蓄電池の台数と同じにしてください。

端子台表示ラベルの記入について

端子台表示ラベルは前面パネル内面に添付してあります。



スピーカーの放送先、階情報、短絡検出感度を記入するために、両端のテープをはがして取り外します。記入します。

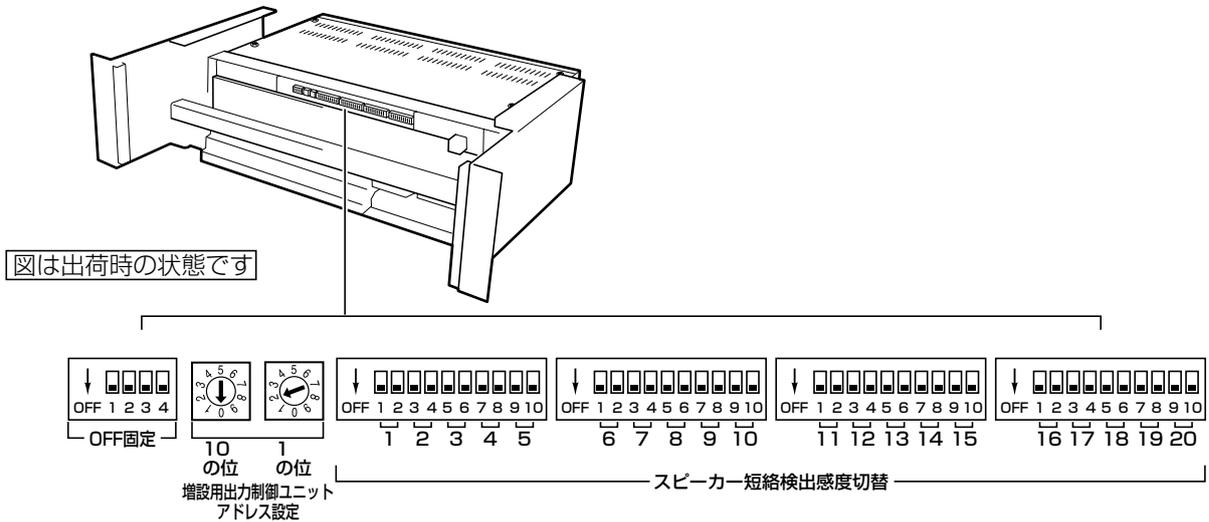


記入後、ラベル裏面の台紙をはがして、前面パネル内面に貼ります。

設定のしかた

ユニットアドレスとスピーカー短絡検出感度の設定

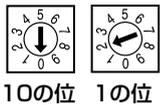
設定ディップスイッチは端子部の上部に配置されています。



● ユニットアドレスの設定

増設用出力制御ユニットを複数台増設したときに、アドレスの設定を行います。

- ・工場出荷の状態は、2台目（02）に設定されています。
- ・ユニットアドレスは02から連続して重複しないように設定してください。



アドレス設定(1~17)

	10の位	1の位
1台目	0	1
2台目	0	2
3台目	0	3
4台目	0	4
5台目	0	5
6台目	0	6
7台目	0	7
8台目	0	8
9台目	0	9
10台目	1	0
11台目	1	1
12台目	1	2
13台目	1	3
14台目	1	4
15台目	1	5
16台目	1	6
17台目	1	7

← WL-8000/8500に取付済の出力制御ユニットのアドレス
 ← 出荷時の設定



- ユニットアドレスの設定は、システムの電源投入時に認識されます。変更したときは、システムの電源を「切」→「入」してください。

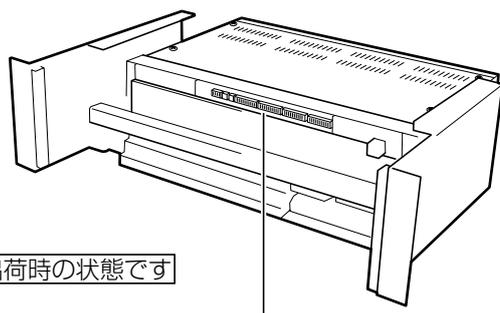
設定のしかた

● スピーカー短絡検出感度の設定

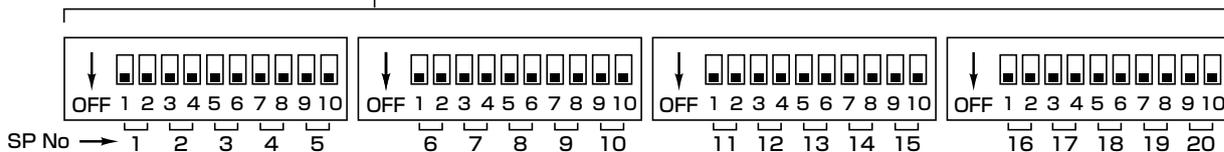
- ・スピーカー回線1回線あたりの容量に応じて、スピーカー短絡検出感度を設定します。正しく設定しないと短絡の誤検出の原因となります。
- ・設定は、60 W以下、61 W~120 W、121 W~200 Wの3種類です。
- ・工場出荷時はすべてOFF (60 W以下) に設定されています。



● SP11~SP20は20回線用WU-ER552専用です。WU-ER551には装備されません。



図は出荷時の状態です



SP No	スイッチ No	スピーカー回線容量		
		60W以下	61W~120W	121W~200W
1	1	すべて OFF	ON	すべて ON
	2		OFF	
2	3	OFF	ON	ON
	4		OFF	
3	5	OFF	ON	ON
	6		OFF	
4	7	OFF	ON	ON
	8		OFF	
5	9	OFF	ON	ON
	10		OFF	

SP No	スイッチ No	スピーカー回線容量		
		60W以下	61W~120W	121W~200W
6	1	すべて OFF	ON	すべて ON
	2		OFF	
7	3	OFF	ON	ON
	4		OFF	
8	5	OFF	ON	ON
	6		OFF	
9	7	OFF	ON	ON
	8		OFF	
10	9	OFF	ON	ON
	10		OFF	

SP No	スイッチ No	スピーカー回線容量		
		60W以下	61W~120W	121W~200W
11	1	すべて OFF	ON	すべて ON
	2		OFF	
12	3	OFF	ON	ON
	4		OFF	
13	5	OFF	ON	ON
	6		OFF	
14	7	OFF	ON	ON
	8		OFF	
15	9	OFF	ON	ON
	10		OFF	

SP No	スイッチ No	スピーカー回線容量		
		60W以下	61W~120W	121W~200W
16	1	すべて OFF	ON	すべて ON
	2		OFF	
17	3	OFF	ON	ON
	4		OFF	
18	5	OFF	ON	ON
	6		OFF	
19	7	OFF	ON	ON
	8		OFF	
20	9	OFF	ON	ON
	10		OFF	

・表中の「SP」はスピーカーの略です。

接続点検

電源の投入

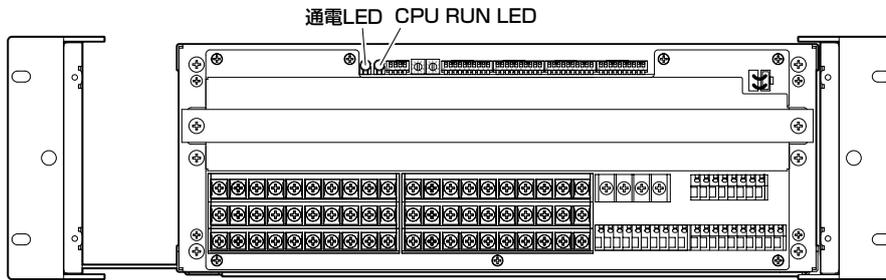
すべての接続が終了し、接続に間違いがないことを確認したら、ラック形非常用放送設備の電源を投入します。

- ・分電盤のブレーカーを「入」にします。
- ・電源制御ユニット (WU-L62) のブレーカーを「入」にします。
- ・非常電源ユニット (WP-570B) の蓄電池スイッチを「入」にします。

1 端子台部の通電LEDが点灯します。

2 端子台部のCPU RUN LEDが点灯します。

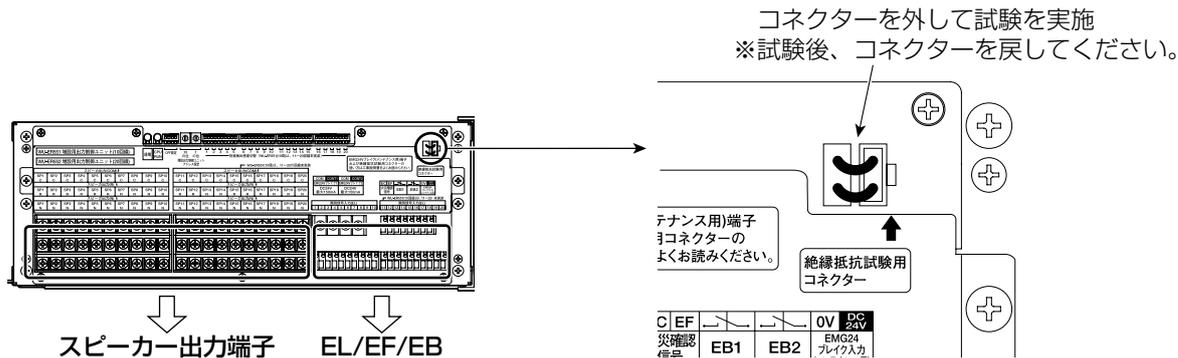
増設用出力制御ユニット(WU-ER551/ER552)



絶縁抵抗試験のしかた

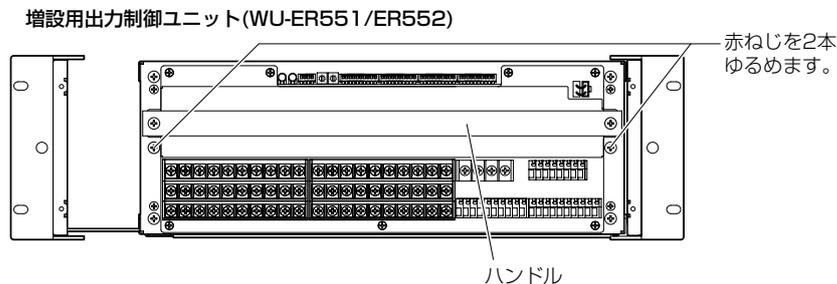
(スピーカー出力端子および火災報知器系統 (EL/EF/EB))

- 1 電源制御ユニット (WU-L62) のブレーカーと非常電源ユニット (WP-570B) の蓄電池スイッチを「切」にします。
- 2 本機前面の「絶縁抵抗試験用コネクター」と記載されたコネクターを取り外します。



- 3 本機の内部と端子台を切り離します。

- ①端子台左右の中央赤ねじ2本ゆるめます。
- ②ハンドルで前に止まるまで引き出します。



- 4 回線ごとにスピーカー出力端子と大地 (シャーシ: 電源制御ユニット[WU-L62]のGND端子) 間の絶縁抵抗を測定します。

250 V絶縁抵抗測定器で絶縁抵抗値が0.1 MΩ以上であることを確認してください。

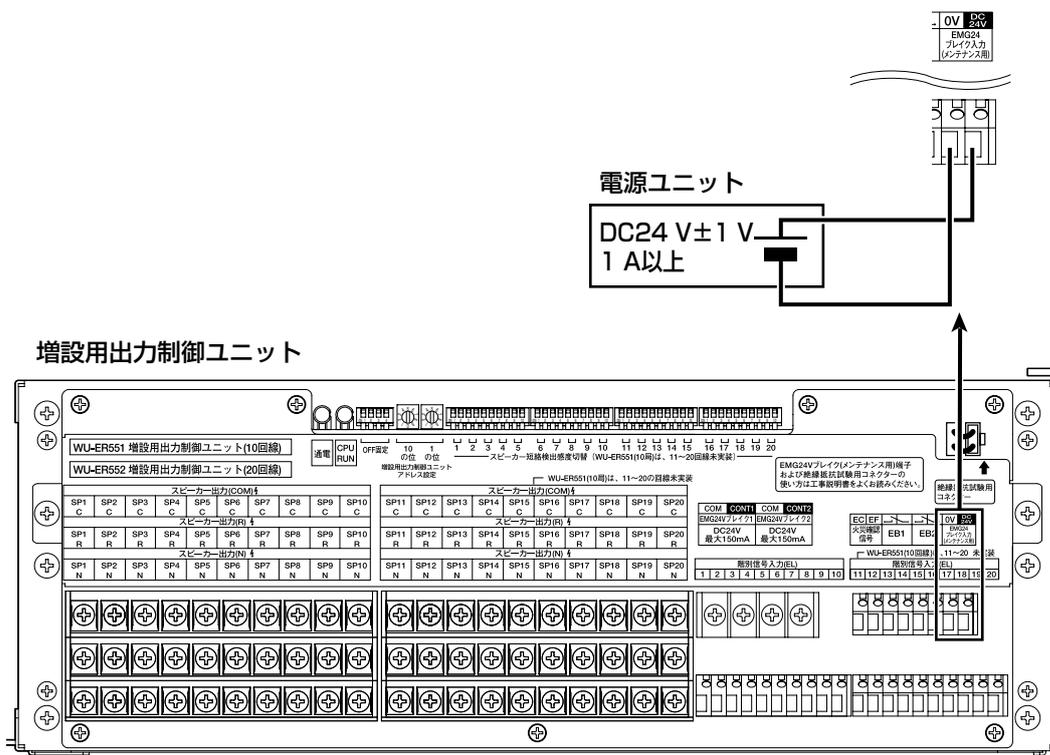
- 5 試験終了後、元どおりに端子台を本機内部と接合させ、「絶縁抵抗試験用コネクター」を取り付けます。

- 重要**
- 指定されたコネクターを外してから絶縁抵抗試験を行います。外さないで試験を行うと、端子と大地間のサージアブソーバーにより不良と見誤ることがあります。
 - 絶縁抵抗試験は、大地と対象の信号線間で行います。信号線同士間で行うと、接続されている機器および本機が故障する場合があります。

- メモ**
- 本機は雷サージ、静電気保護のためにスピーカー出力端子と大地との間にサージアブソーバーが取り付けられています。
 - 火災報知器の系統 (EL/EF/EB) にも同様にサージアブソーバーが取り付けられています。スピーカー端子と同様に上記のコネクターを外すと、サージアブソーバーを大地から切り離すことができます。

EMG24 Vブレイク（メンテナンス用端子）の使いかた

- ・メンテナンス時、電源制御ユニット（WU-L62）のブレーカーを「切」にすると、EMG24 Vブレイク信号はブレイク状態になり、ローカル放送は停止します。
増設用出力制御ユニット前面には、EMG24 Vブレイク信号を継続動作できるようにDC24 V電源を接続する端子があります。
- ・メンテナンス時にローカルアンプを停止させたくない場合は、EMG24 Vブレイク信号が常時24 V出力になるように、EMG24 Vブレイク端子（メンテナンス用）にDC24 Vを接続してください。
- ・供給する電源は、DC24 V±1 V 1 A以上を満たす必要があります。



- **重要** 接続に際しては、極性に十分注意してください。
- 0 V端子は本機のグランドと接続されています。

設置・工事

故障かな!?

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、販売会社へご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
前面パネル内の通電LEDが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ● CONT BUS Bケーブルのコネクターが奥まで差し込まれていますか？ ➡ プラグがロックされるまで差し込んでください。 	6
前面パネル内のCPU RUN LEDが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ● 液晶画面に「エラー」と表示され、異常詳細表示に「通信異常 増設出力制御 n[*]」と表示されていませんか？ ➡ CONT BUS Bケーブルの接続を確認してください。 ➡ 本機のユニットアドレスを確認してください。 ➡ ラック形非常放送設備側で、書き込み設定によるシステム構成登録を行ってください。 <p>※nはユニットアドレス番号を示します。</p>	6、15 WL-8000/ 8500 工事説明書 書き込み編
液晶画面に「エラー」と表示され、異常詳細表示に「SP回線短絡」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカー回線容量とスピーカー短絡検出感度切替の設定は合っていますか？ ➡ スピーカー回線容量に合わせて、スピーカー短絡検出感度切替を設定してください。 	16
	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続スピーカー線のショートはありませんか？ ➡ 接続スピーカー線のショートを確認してください。 	18

必要なとき

仕様

[] 表記はWU-ER551

電源	DC 24 V 1 A [690 mA] (ラック形非常用放送設備または、外部電源より供給)
階別信号入力	即結端子台EL1~EL20 [EL10] 開放電圧30 V 短絡電流3 mA
火災確認信号	即結端子台EC、EF 開放電圧30 V 短絡電流3 mA
EB接点	即結端子台EB1、EB2 (2系統) 無電圧メイク リレー接点DC50 V 1 A
EMG24 Vブレイク1、2	DC 24 V 1端子あたり最大150 mA
スピーカー出力	ねじ式端子台 SP1~SP20 [SP10] (各N、R、C) 1回線あたり最大200 W
スピーカー短絡検出	ヒューズレス (ディップスイッチにより短絡検出感度切替)
電力増幅ユニット入力	後面コネクタ PA1~PA4 [PA2] 1入力あたり最大480 W
外部機器異常入力	後面即結端子台 CONT、COM
寸法	幅480 mm 高さ132 mm 奥行き300 mm
質量	約8.3 kg [約8.0 kg]
仕上げ	パネル：AVライトグレイ塗装 (マンセルN8近似色 日塗工 CN-80近似色)

必要
な
と
き

メモ

必要なとき

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この増設用出力制御ユニットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

20ページの表にしたがってご確認のあと、なお異常のあるときは、ただちに販売会社へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定にしたがって、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	増設用出力制御ユニット
品番	WU-ER551, WU-ER552
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

必要なとき

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイフ



0120-878-410

受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくための、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日	品番	WU-ER551, WU-ER552
おぼえのため 記入されると 便利です	販売店名	電話（	）	—		

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号